

令和5年9月定例会

建設委員会資料  
(上下水道局)



## 7月豪雨の被害検証と浸水対策の検討について

### 1 7月豪雨の状況

今回の豪雨は、内水氾濫と外水氾濫(図1)が複合的、多発的に発生し、家屋等の浸水被害が広範囲にわたったと推測している。こうした水害に対しては、流域全体を俯瞰し、河川や排水施設を管理する関係者が協働して取り組む総合的な治水対策「流域治水」を推進することが有効である。

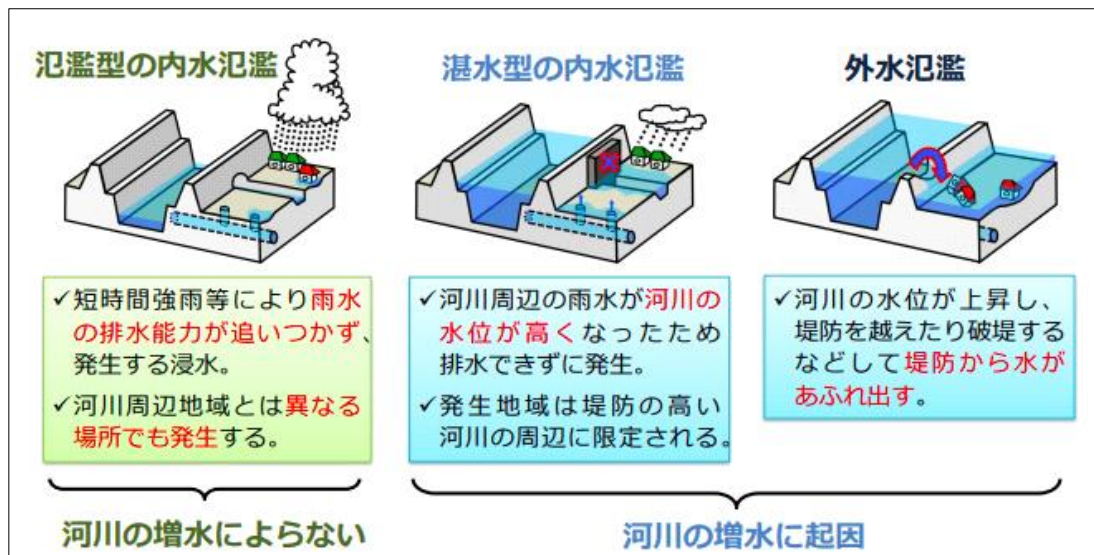


図1：内水氾濫と外水氾濫（出典：気象庁HP）

### 2 被害検証への取組

7月豪雨をはじめとした激甚化・頻発化する水害を軽減させるため、「流域治水」の計画的な推進を目的に、「雄物川圏域流域治水協議会」の枠組みを活用した、「雄物川圏域流域治水協議会・下流圏域分科会」を令和5年8月30日に設立(図2)、地形、気象データや被害状況などを用いた詳細な解析により、被害発生の要因について検証を行うこととした。

※ 下流圏域分科会の構成(図2)は裏面参照

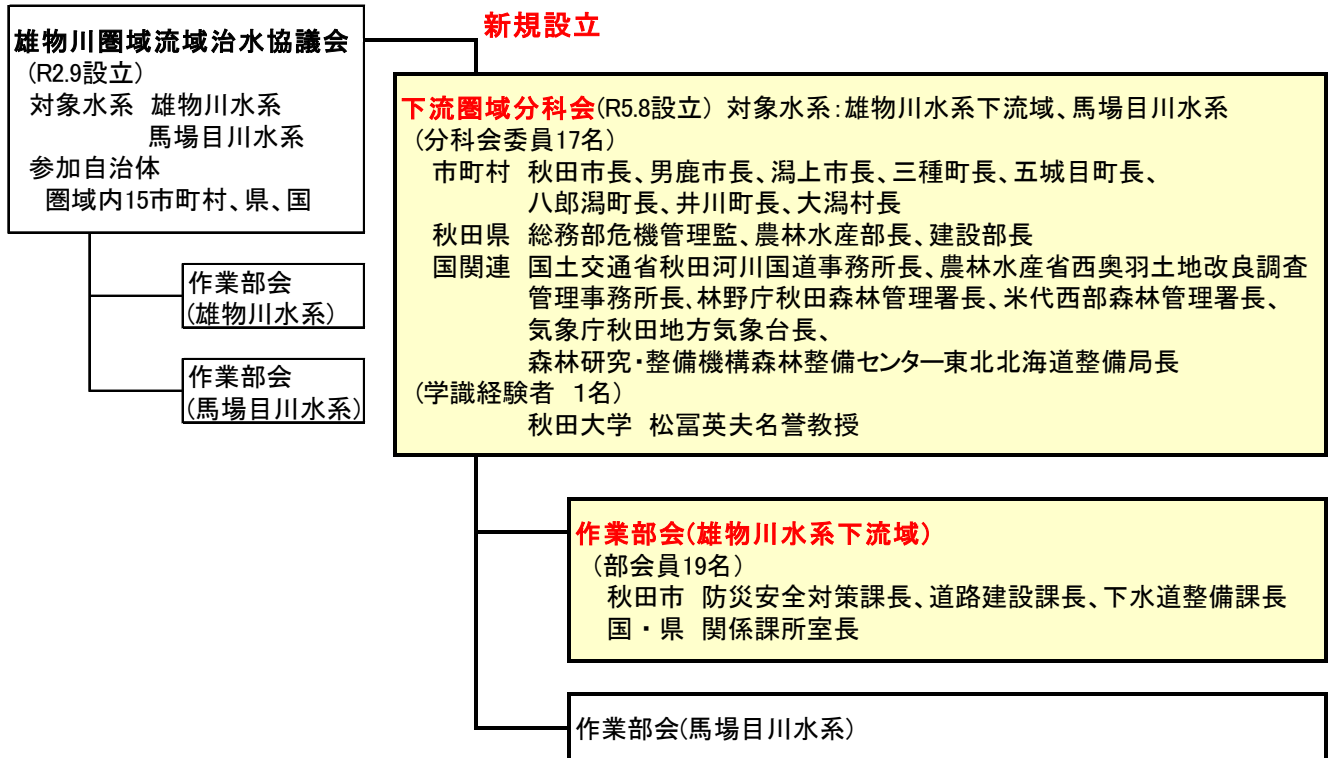


図 2 : 下流圏域分科会の構成

### 3 今後の予定

今後は、作業部会において検証および検討を行い、中長期的なハード対策や短期に実施可能なソフト対策などを含む、総合的な治水対策「流域治水対策プロジェクト」を年内を目途に策定・公表する。

令和5年 8月30日	第1回 下流圏域分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害状況の共有</li> <li>・各委員による意見交換</li> </ul>
9～11月	作業部会	<p>【浸水状況の再現・検証①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種データの収集 地盤高、気象データ、河川水位、既存排水施設、浸水痕跡、被害状況、各種カメラ画像など</li> <li>・浸水シミュレーションによる再現・検証 上記のデータを用いて7月豪雨の浸水状況を再現し、被害発生の要因について解析と検証を行う。</li> <li>・総合的な治水対策の提案 検証結果を踏まえ、河川・下水道・農林など、各事業において浸水被害の軽減に有効な対策を提案する。</li> </ul>
		<p>【浸水状況の再現・検証②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水シミュレーションによる効果検証 再現した7月豪雨に対して、提案した治水対策を実施した場合の浸水状況を解析し、対策の効果を検証する。</li> </ul> <p>【総合的な治水対策の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治水対策の事業量整理 実施が効果的と判断した各事業ごとの対策について、概算事業費や事業期間を算出する。</li> </ul>
12月末	第2回 下流圏域分科会	<p>【流域治水対策プロジェクトの策定と公表】</p> <p>河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策を含む「流域治水対策プロジェクト」を策定、公表する。</p>